

議長／皆さんおはようございます。

ただいまより平成 31 年 3 月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

市長から提出されました第 3 号議案から第 35 号議案までの 33 件の議案と報告 2 件を一括上程いたします。

日程第 1. 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、議会運営委員長の答申を求めます。

末藤議会運営委員長

末藤議会運営委員長／おはようございます。

平成 31 年 3 月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、3 月 1 日、議会運営委員会を開催し、協議をいたしました結果について御報告申し上げます。議長から諮問がありました事項は、第 1. 会期及び会期日程について、第 2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第 3. 一般質問の質問順序について、第 4. 各特別委員会の中間報告について、以上 4 項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、承認議案 1 件、条例議案 12 件、事件議案 1 件、予算議案 19 件、報告事項 2 件の 35 件でございます。

なお、追加議案等として、予算議案 2 件、人事案件 6 件が予定されております。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

議案番号順に審議を行い、第 35 号議案 専決処分の承認については、所管の常任委員会の付託を省略して即決、第 16 号議案 平成 30 年度武雄市一般会計補正予算(第 10 回)及び第 25 号議案 平成 31 年度武雄市一般会計予算につきましては、所管の常任委員会に分割付託、その他の議案につきましては、所管の常任委員会に付託することで、意見の一致をみました。

次に、一般質問でございます。

11 名の議員から 36 項目の通告がなされており、抽選結果はお手元に配付のとおりでございます。

11 日から 13 日まで 3 日間の日程とし、質問順序は抽選番号順に、11 日と 12 日はそれぞれ 4 名ずつ、13 日は 3 名行うこととして、いずれも午前 9 時から開議とすることで決定いたしました。

質問時間につきましては、答弁を含めて 60 分であります。

次に、各特別委員会の中間報告の件でございますが、3 月 14 日の議案審議に先立ち、報告を行っていただくことになりました。

各特別委員会の委員長におかれましては、よろしく願いをいたします。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は、本日3月4日から、3月20日までの17日間が適当である旨を決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、お手元に配付のとおりであります。

答申は以上でございます。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日4日から20日までの17日間と決定をいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

>異議なし

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日4日から20日までの17日間とすることに決定をいたしました。

日程第2．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、12番池田議員、15番松尾初秋議員、20番江原議員の以上3名を指名いたします。

日程第3．議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付しております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4．市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

私より、提案事項の説明をさせていただきます。

まず、基本方針についてであります。

この度、市民の皆様、議会の皆様、そして各方面の方々より幅広い御支援を賜り、引き続き4年間の市政運営を担わせていただくことになりました。

まさに身の引き締まる思いでこの場に立っております。

私の基本姿勢である対話、誠実、全力投球を常に大事にし、まさに信なくば立たずを私自身これからも大切に、市政運営に当たってまいります。

さて、この武雄市にとって3年後の九州新幹線西九州ルートの新設は、大きな交通変革であり、さらなる発展に向けた大きなチャンスでもあります。

このチャンスを最大限に生かして、佐賀・長崎両県をつなぐ拠点都市、すなわち西九州のハブ都市を目指してまいります。

西九州のハブ都市に向け、これまで以上にスピード感を持ってオール武雄で取り組むという意味で、本年をハブ都市元年と位置づけ、「地域経済の活性化」、「人にやさしいまちづくり」、「さらなる生活の充実」の3つを基本方針として、各種事業に取り組んでまいります。

「地域経済の活性化」によってふえた税収を、「人にやさしいまちづくり」や「さらなる生活の充実」のために活用することで、武雄の暮らしやすさが向上し、それがまた地域経済の活性化につながるという好循環をつくっていきたいと考えております。

地域経済の活性化についてであります。

新幹線暫定開業を目前に控えた今、西九州のハブ都市としての礎を築くためには、武雄市の優位性や地域資源を生かして経済を活性化させ、さらなるまちの元気と活気につなげる必要があります。

そこで、武雄市の基幹産業である観光と農業に、特に力を入れていきたいと考えております。観光につきましては、新幹線開業により佐賀・長崎両県の結節点としての地理的優位性が増すとともに、温泉等の観光資源も豊富にあることから、これらの強みを生かし、この武雄市がこれまで以上に便利さと楽しさを兼ね備えた観光拠点となるよう取り組んでまいります。便利さの向上に向けては、武雄温泉駅で観光客の手荷物一時預かりサービス等を開始し、武雄を訪れた観光客が気軽に手ぶらで観光できる環境を整備することでその利便性に磨きをかけてまいります。

楽しさの向上に向けては、武雄の強みである夜の魅力をさらに高める方策を皆で考え、実行していく受け皿としてナイトタイムエコノミー実行委員会を設置いたします。

武雄の夜を安心して楽しく過ごしてもらおう仕掛けづくり等を通して、夜の消費拡大、すなわちナイトタイムエコノミーの活性化を図り、武雄市への宿泊及び回遊につなげてまいります。また、観光振興では広域連携も重要であります。

武雄市を含めたエリア全体の魅力を高めるため、武雄市、嬉野市、有田町の2市1町で連携し、共同観光PR等、さまざまな事業に取り組んでまいります。

ほかにも、5月1日の改元に伴う10連休の期間のイベントとして、武雄温泉楼門と図書館を結ぶエリアでまちなかマルシェを開催し、町なかをめぐる楽しさを演出いたします。

これらハブ都市に向けた観光施策等につきましては、庁内に専門部署を設置し、スピード感を持って取り組んでまいります。

農業につきましては、農業が元気になると地域が元気になるとともに、私たちの美しい田園風景を守るためにも、持続可能な農業につながる取り組みを進めてまいります。

特に、農家の皆様の声を踏まえ、後継者対策に力を入れてまいります。

その一環として、庁内に就農支援を行う専門部署を設置し、住居の確保も含めてワンストップ

プで対応いたします。

市外からの研修生に対する家賃補助も行うなど、就農支援メニューを充実させて日本一就農しやすいまちを目指してまいります。

また、市内の「がんばる農家」の支援にも力を入れます。

農業者が個人で暗渠排水整備や農地の区画拡大を行う場合に、市単独で一定の補助を行いたいと考えております。

雇用の創出・確保も、所得の向上や、人口流出の抑制を図る上で重要であります。

今後も武雄市地域雇用創造協議会を中心として、女性、高齢者、障がい者を含め幅広く雇用を拡大するため、よりきめ細かな就職支援を行うとともに、起業支援にも力を入れてまいります。

先月、株式会社近藤製作所様の企業進出が決定し、今月には株式会社オンワード樫山様の新工場建設に係る起工式が行われます。

東川登町袴野地区での新工業団地造成と合わせ、企業誘致によるさらなる雇用の創出・確保にも取り組んでまいります。

このほかにも、移住・定住施策の推進、武雄温泉駅南口広場の整備、駅高架下の活用等を行い、新幹線開業による経済効果を最大限高めるため、ソフト、ハード両面で、開業に向けた準備を皆様とともにしっかり行ってまいります。

人に優しいまちづくりについてであります。

「人にやさしいまち」とは、どんな境遇や環境であっても、幾つになっても自分らしく幸せに暮らせる町、いわば全世代に対して安心が保障されたまちであり、それはずっと住みたいまち、持続可能なまちにつながります。

これは私の政策の根幹であることから、引き続き、福祉及び教育政策を推進いたします。

小中学生の15人に1人が発達障がい児であるとも言われる中、発達障がい児が安心して生活していくためには、早期発見・早期療育と、ライフステージに応じた切れ目のないサポート等が必要不可欠です。

そこで、発達障がい児を就学前から就職まで伴走型で支援する専門部署を、県内の市町で初めて設置いたします。

これにより、福祉と教育の垣根を越えて関係機関との連携を強化し、適切かつ継続的な支援につなげてまいります。

また、子どもの貧困対策につきましても、現場のニーズを踏まえ、伴走型支援を行う「こどもの笑顔コーディネーター」を2名増員し、課題の早期解決に向けた取り組みをさらに強化いたします。

高齢者福祉につきましても、地域包括ケアシステムの構築に向け、今年度中に、市内全町で町単位の協議体とコーディネーターの設置が完了する見込みです。

このうち、西川登町において、地域包括ケアシステムの取り組みの一環として、拠点施設である「かんころの家」でのサロンの開催や、住民ボランティアによる「かんころの家」と町内各地区、商業施設、金融機関等を結ぶ自主運行事業が実施される予定です。

市民の皆様から特に多かった声は、年をとっても、免許を返納しても、買い物や病院などに困らないよう移動手段を確保してほしいという切実な声でした。

これを受け、高齢者や障がい者等のいわゆる交通弱者の移動手段確保に向け、武雄市地域公共交通網形成計画の策定に着手します。

バス路線の見直しや、地域包括ケアシステムとの連携等、地域の実情に合った持続可能な地域公共交通の整備を進めてまいります。

このように、移動手段の確保と高齢者が集う身近な拠点づくりを着実に進め、高齢者の生きがい・元気づくりにつなげてまいります。

市民の健康づくりにつきましては、身近な場面で気軽に行える取り組みとして、一口目は野菜を食べようというベジファースト事業を実施いたします。

飲食店や学校等にも協力を呼びかけ、野菜から食べ始める習慣が無理なく身に付く環境を整えることで、糖尿病の重症化予防等につなげてまいります。

また、ふるさと教育を通じて武雄の未来を担う人づくりを進めます。

武雄高校との協働による高校生のまちづくり参画事業をさらに発展させ、高校生による地域課題の発見と課題解決に向けた実践的な取り組みを行います。

さらなる生活の充実についてであります。

21世紀は、生活の質、心の豊かさを追求する時代であります。

そこで今後は、スポーツ・文化重視の姿勢で臨み、誰もがスポーツや文化を通じて幸福で健康で充実した生活を送れるよう、長期的視点に立って取り組んでまいります。

特に、スポーツについては来年の東京オリンピック・パラリンピックや、4年後に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機に、庁内に専門部署を設けて、スピード感を持って各種施策を推進してまいります。

スポーツを通じて人と人とのつながりが生まれたり、スポーツを通じて自らが健康に幸せに生きることができるという意味で、スポーツには大変大きな意義があると考えております。

体育施設の整備や合宿、大会誘致を進めるとともに、武雄市独自の測定項目を追加した武雄版新体力テストを実施するなど、スポーツに対する垣根を低くし、市民の皆様が気軽にスポーツに楽しめる環境をつくることで市内のスポーツ人口をふやしてまいります。

文化関係では、国の重要文化財である武雄鍋島家洋学関係資料の保存活用計画を策定し、関係資料の保存及び積極的かつ幅広くに活用を行うなど、文化の継承と醸成に努めてまいります。

その他についてであります。

外国人住民の数が増加傾向にある中、互いの文化的違いを認め合い、地域社会の構成員とし

て共生する「多文化共生のまちづくり」が求められております。

そこで、県内で一早く武雄市役所に外国人住民の相談窓口を設置するとともに、災害時の支援を初めとする外国人住民の生活支援、地域住民との相互理解に向けた「やさしい日本語」の普及活動等を行ってまいります。

今後もさらに一層、市民の福祉の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、議員各位の御理解・御協力を切にお願い申し上げます、私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会も、どうぞよろしく願いいたします。

議長／北川副市長

北川副市長／皆様おはようございます。

私のほうから今議会の議案を御説明申し上げます。

まず、条例議案について御説明いたします。

武雄市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、市長部局においてスポーツに関する事務を行うため、新たに条例を制定するものであります。

あわせて、それに伴う組織機構の見直しを行うため、武雄市部設置条例の一部を改正する条例を提案しております。

次に、武雄市職員の給与に関する条例及び武雄市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例は、国家公務員及び佐賀県職員の給与改定に鑑み、一般職の職員の給与を改正するものであります。

また、国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員及び常勤の特別職の期末手当の支給率を改正するため、「武雄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び武雄市特別職の職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」を提案しております。

「武雄市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」は、長期休業日等における利用料を見直すものであります。

その他一部改正条例7件を提案いたしております。

次に、事件議案については、地方自治法の規定に基づく「土地改良事業に関する事務委託の変更に係る協議について」、議会の議決をお願いしております。

続きまして、予算議案について主なものを御説明申し上げます。

新年度の予算議案につきましては、平成31年度一般会計予算のほか、6件の特別会計と3件の企業会計の予算を提出いたしております。

一般会計の主なものとして、ソフト事業では、「新規就農者支援事業」や「こどもの貧困対策事業」、国民スポーツ大会等を見据えた「スポーツのまちづくり事業」、食を通じた健康づく

りを取り組みとした「ベジファースト事業」、「高校生のまちづくり参画事業」や、観光振興を主な目的とした武雄市・嬉野市・有田町との「3市町広域連携事業」など、最終年度の5年目となる「武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた目標の実現に向けた事業費を計上いたしております。

また、ハード事業では、市営高野小原住宅統合建替事業、朝日公民館建設事業など施設の老朽化対策に係る事業費や、図書館・歴史資料館及び小・中学校特別教室の空調設備設置に係る設計業務委託料等の経費を計上いたしております。

次に、平成30年度補正予算議案では、国県の支出金の確定あるいは年度内の執行見込みに基づく事業費の増減などにより、平成30年度一般会計補正予算（第10回）のほか、6件の特別会計と2件の企業会計の補正予算を提出いたしております。

また、さきの議会以降、緊急を要した「平成30年度武雄市競輪事業特別会計補正予算（第5回）」について2月13日付で、専決処分を行いましたので、これについて承認を求める議案と交通事故による損害賠償に係る専決処分の報告をいたしております。

以上、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5．教育長の教育に関する報告を求めます。

浦郷教育長浦郷教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

初めに、学校教育について申し上げます。

ICT教育では、1月17日、全国ICT教育首長協議会が主催する2019日本ICT教育アワードにおいて、最優秀賞である日本ICT教育アワード大賞を受賞しました。

これは、ICT教育の全国展開に向けて、先進的・特徴的な取り組みを行う自治体を顕彰する目的で実施されるもので、武雄市が進めるICT教育の取り組みが先進地の好事例として高く評価されたものです。

2月10日には、東京のソフトバンク本社ビル内において、Pepper社会貢献プログラムスクールチャレンジプログラミング成果発表会が開催され、小学校部門で橘小学校が銅賞を、クラブ・部活動部門で武雄北中学校が銀賞を受賞されました。

学校施設では、3月から北方小学校の普通教室・特別支援教室等への空調設備設置工事を開始し、5月末までに完了する予定であります。

犬走分校につきましては、来年度から通学する児童が不在のため、平成31年度につきましては休校となります。

分校の維持管理は、継続して行います。

次に、子育てについてです。

子育て総合支援センターでは、2月18日に子育て支援者交流会を開催しました。

学校現場での地域との連携について報告を受け、子育て支援者同士による意見交換を行い、相互の連携を深めました。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

1月3日の成人式には、新成人496人が集い、実行委員の運営で盛大に開催することができました。

青少年教育としましては、2月1日から5日までの5日間にわたる北海道雄武町での児童交流では、子どもたちは厳しい寒さを体験し、ホームステイを通じて交流を深めてまいりました。

2月17日開催の第13回トムソーヤ・フェスティバルでは、子どもたちが学校や地域での活動を元気に発表してくれました。

スポーツ関連では、関西大学とのスポーツ交流事業が11年目を迎え、今年度は3月2日に中学生を対象とした陸上教室を行いました。

また、2月15日から17日まで行われた第59回郡市対抗県内一周駅伝大会では、武雄市選手団は、選手、役員が一丸となって健闘していただきました。

また、1月臨時議会です承いただきました体育施設に関する市民会議を2月から開催しており、スポーツに関する御意見をいただいております。

ことしの夏、7月27日から8月1日にかけて佐賀県で開催される第43回全国高等学校総合文化祭では、本市が会場となる郷土芸能と日本音楽を担当する高校生が表敬訪問され、PRと開催に向けた協力を依頼されました。

文化財関係では、文化財防火デーに当たる1月26日に武雄温泉楼門周辺での文化財火災防衛訓練を実施し、消防署・消防団が連携した実践形式での中継訓練に取り組んでいただきました図書館・歴史資料館につきましては、平成25年4月のリニューアルオープンからの来館者が500万人を達成したことを記念し、2月16日にセレモニーを開催いたしました。

企画展では、12月15日から1月20日まで図書館展LibraryLifeLaboを開催し、期間中多くの方に来館いただきました。

また、東京オリンピック・パラリンピックに出会う6日間として、2月14日のフラッグツアーにあわせて、2月9日から14日までの期間中に、オリンピックメダリストやパラスポーツ選手をゲストにしたトークショーなどを開催し、オリンピック・パラリンピックを盛り上げました。

以上、教育に関する報告をいたしました。

主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

今後とも、さらなる御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。教育に関する報告とさせていただきます。



議長／以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

どうも、お疲れさまでした。